

令和4年7月22日  
四国電力株式会社

## 伊方発電所3号機 海水ポンプ潤滑水の配管清掃に伴う 運転上の制限の逸脱について

通常運転中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）において、7月18日、4台ある海水ポンプのうち、3C（運転中）の軸受潤滑水およびモータ冷却水を供給する系統（以下、「通常系統」という。）の流量が低下したことから、念のためバックアップ系統からも給水し、海水ポンプ3Cの運転を継続しました。

当該流量の低下については、海生生物の付着等の可能性が考えられたことから、3Cおよび系統を共有する3D（待機中）の通常系統の一部の配管清掃を実施することとし、当該清掃に先立ち、7月21日8時59分、3Cおよび3Dの通常系統からの給水を停止しました。これに伴い、保安規定に定める運転上の制限<sup>\*</sup>を満足しない状態にあると判断しました。なお、通常系統からの給水停止後も、バックアップ系統からの給水を継続していました。

その後、当該配管の清掃を実施した結果、海水ポンプ3C、3Dの通常系統の流量回復を確認しました。これにより、7月21日18時5分に運転上の制限を満足していることを確認し、通常状態に復旧しました。

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

<sup>\*</sup>保安規定では、安全機能を確保するために必要な機器の台数等を「運転上の制限」として定めており、海水ポンプは、プラント通常運転中に2系統（3A、3Bポンプおよび3C、3Dポンプ）が動作可能であることを求めている。

（参考）

### ○海水ポンプ

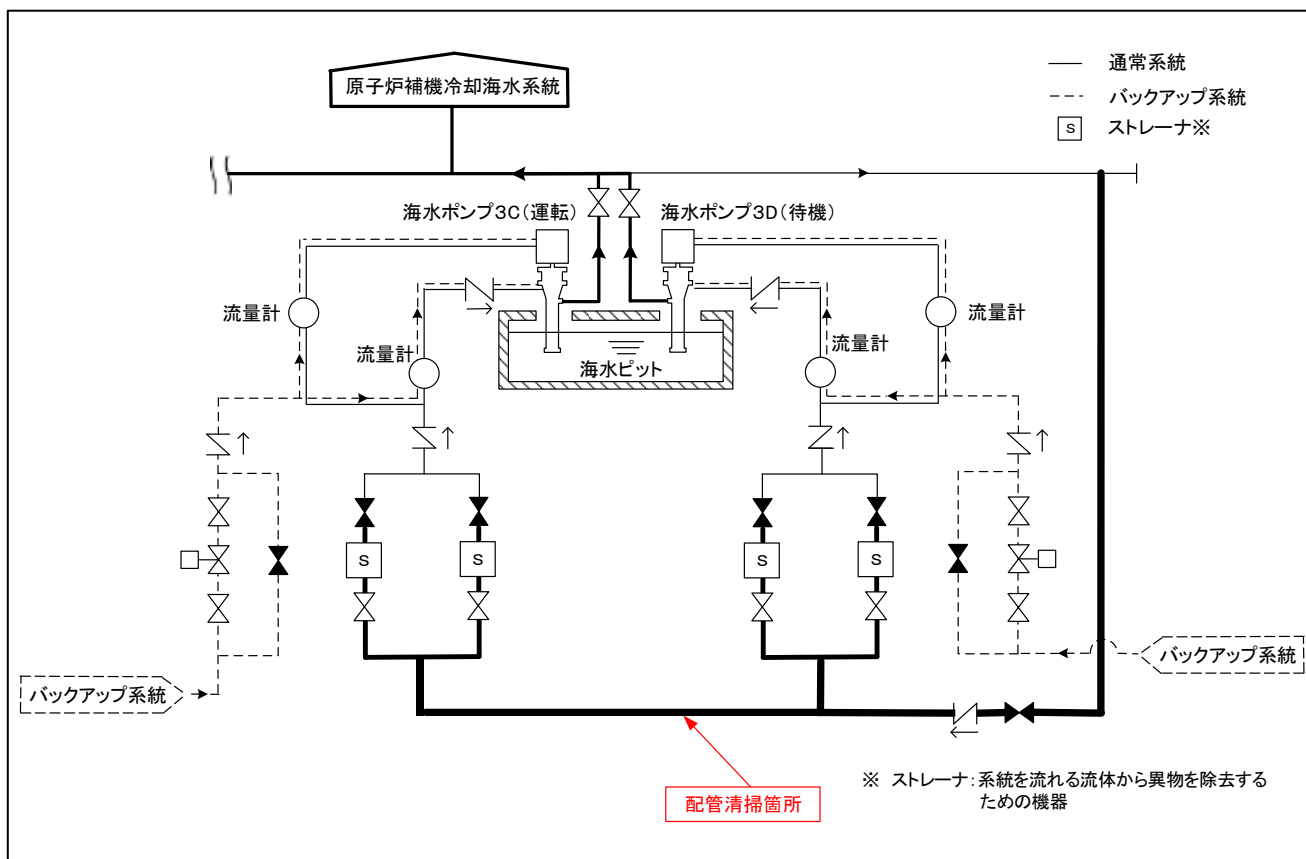
1次系のポンプや非常用ディーゼル発電機等の冷却水を熱交換器を介して冷却するための海水を送水するポンプ。海水ポンプは4台設置しており、そのうち2台を運転し2台を待機状態としている。

### ○潤滑水

海水ポンプ軸受部の過熱を防止し、ポンプの回転を円滑にするために供給している海水（冷却水）。潤滑水系統からは軸受潤滑水の外、モータ冷却水にも供給している。

添付資料 伊方発電所3号機 海水ポンプ3C、3D潤滑水系統 概略図

以上



伊方発電所 3号機 海水ポンプ 3C、3D潤滑水系統 概略図